

視覚障害者誘導用ブロック等の設置方法及び構造に関する実験

実験結果



実験の概要

踏切道における視覚障害者の誘導対策として、誘導表示等※を用いた案内方法について確認及び評価を行う。

※「視覚障害者誘導用ブロック」及び「表面に凹凸のある誘導表示等」

予備実験Ⅰ

- ・視覚障害者が横断歩道と踏切（横断歩道ではない）の識別が可能かを確認する。

予備実験Ⅱ

- ・「踏切手前部の誘導方法」4パターンと「踏切内の誘導方法」5パターンを視覚障害者に通行体験してもらい、本実験の実験パターンを選出する。



本実験での実験パターンを選出

本実験

- ・「踏切手前部の誘導方法」と「踏切内の誘導方法」の組み合わせによる実験パターンを、実際の踏切を模した条件により、視覚障害者及び車椅子使用者に通行体験してもらい、①認識性、②識別性、③直進性等について評価する。



最終確認での実験パターンを設定

本実験 (最終確認)

- ・実際の踏切を模した条件により斜めと直角に敷設し、視覚障害者及び車椅子使用者に通行体験してもらい、気づいたことや斜めの敷設に対する影響を確認する。
- ・課題や設置上の留意事項等を整理する。

検討の流れと結果概要

予備実験

【踏切道手前】

- (1) × (2) よりも低評価
➤ 隙間の必要性を確認
- (2) ○ (4) に次いで高評価
- (3) ○ (4) に次いで高評価
× 横方向の線状突起の認識なし
- (4) ○ 十分な効果が認められた
➤ 踏切道の注意喚起をより明確にできる効果あり

【踏切道内】

- (5) ○ 比較用として本実験へ → 本実験へ【④】
- (6) ○ 総じて高評価 → 本実験へ【②】
- (7) ○ (8) よりも高評価 → 本実験へ【③】
- (8) × (7) よりも低評価
- (9) ○ 評価が分かれた (高評価も低評価もあり) → 本実験へ【①】

本実験

- ① × 誘導表示を踏み外して道路外にはみ出す危険性あり
- ② ○ 総じて高評価
- ③ ○ 総じて高評価
- ④ × 横断歩道と混同のおそれあり

【最終確認】

- ②改：誘導ラインの位置を再評価
 ○ 総じて高評価
➤ 両側に誘導ラインがあった方がよい
➤ 車椅子使用者は振動の影響あり

- ③：斜め敷設の影響を確認
 ○ 総じて高評価
➤ 踏切手前で方向定位しにくいことを把握

視覚障害者誘導用ブロック等の設置方法及び構造に関する実験

予備実験



日にち：2023年9月21日

場 所：国土交通省国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市）

実験参加者：視覚障害者4名

予備実験Ⅱ結果：踏切手前部のまとめ

踏切手前部の実験 ⇒ 4パターンのうち1パターンを本実験用に選定

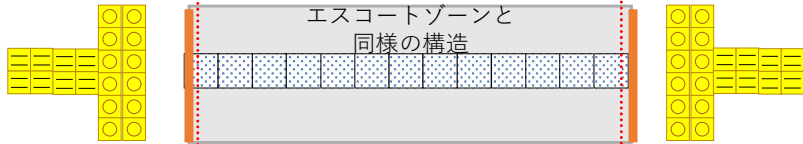

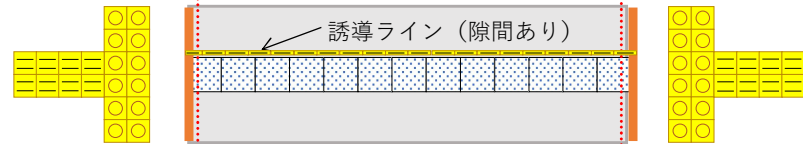

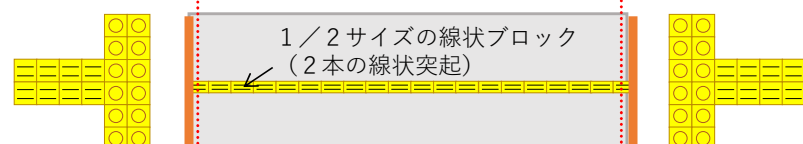

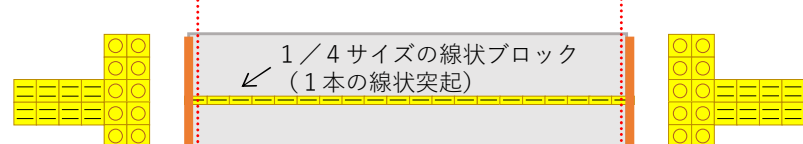

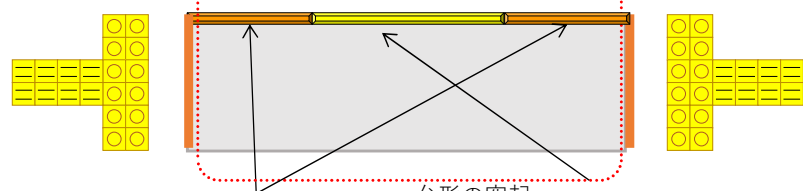

— : 遮断かん位置 (想定)

<p>⊗</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 踏切に進入、退出したことの確信度は、パターン②よりも低い ○ 全盲の参加者の評価が低い
<p>②</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 踏切に進入、退出したことの確信度の評価は、④に次いで高い <p>⇒ 本実験で評価</p>
<p>⊗</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 踏切に進入、退出したことの確信度の評価は、④に次いで高い ○ 横方向の線状突起を手がかりに踏切の出入りを認識した実験参加者はなし
<p>④</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 踏切に進入、退出したことの確信度の評価が最も高い <p>⇒ 十分な効果が認められた。 (仮設に対応できないため本実験では評価しない)</p>

予備実験Ⅱ結果：踏切内のまとめ

踏切内の実験 ⇒ 5パターンのうち4パターンを本実験用に選定

— : 遮断かん位置 (想定)

⑤	 <p>エスコートゾーンと 同様の構造</p>	<p>○ 比較用 ⇒本実験で評価</p>	
⑥	 <p>誘導ライン (隙間あり)</p>	<p>○ 全ての観点で比較的評価が高い ⇒本実験で評価</p>	
⑦	 <p>1/2サイズの線状ブロック (2本の線状突起)</p>	<p>○ 見つけやすさ、通行のしやすさの観点で、 ⑧よりも評価が高い ⇒本実験で評価</p>	
⊗	 <p>1/4サイズの線状ブロック (1本の線状突起)</p>	<p>○ 見つけやすさ、通行のしやすさの観点で、 ⑦よりも評価が低い</p>	
⑨	 <p>台形の突起 かまぼこ形の誘導物 (幅：100mm, 高さ：20mm) 高さ：視覚障害者用 誘導ブロックと同じ</p>	<p>○ 通行しやすさの観点で、評価が高い人、低い人がいた ⇒本実験で評価</p>	

視覚障害者誘導用ブロック等の設置方法及び構造に関する実験

本実験



日にち：2023年10月3～5日

場 所：東鉄工業（株）東鉄総合研修センター（茨城県つくばみらい市）

実験参加者：視覚障害者9名、車椅子使用者3名

本実験の概要

- 実験参加者に「踏切手前部の誘導方法」と「踏切内の誘導方法」を一連で通行体験（4パターン）してもらい、評価（認識性、識別性、直進性など）やコメントを聞き取り
- 踏切内の通行途中で誘導表示等を見失う場面（誘導表示等の上に立ち止まる人がいる場面）を設定し、実験参加者が誘導表示等を探索する状況を体験してもらい、その状況の評価を聞き取り
- 踏切内／外に実験参加者がいるときに、予告なしに警報器と遮断かんが作動したときの体験をもらい、その状況の評価を聞き取るとともに、実験参加者の行動の変化を観察

本実験：誘導表示等のパターン

踏切手前部1パターン×踏切内4パターン ⇒ 4パターンの組合せで実施

— : 遮断かん位置

<p>①</p>	<p>かまぼこ形の誘導物 (幅：100mm, 高さ：20mm)</p> <p>台形の突起※2 (幅：100mm, 高さ：視覚障害者用誘導ブロックと同じ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内の誘導表示の間に隙間あり ● 踏切内：かまぼこ形の誘導物＋台形の突起（線路側の端に設置）
<p>②</p>	<p>誘導ライン（隙間あり）</p> <p>エスコートゾーンと同様の構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内の誘導表示の間に隙間あり ● 踏切内：線状突起の誘導ライン＋隙間＋エスコートゾーンと同様の構造
<p>③</p>	<p>1/2サイズの線状ブロック (2本の線状突起)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内の誘導表示の間に隙間あり ● 踏切内：1/2サイズの線状ブロック（2本の線状突起）
<p>④</p>	<p>エスコートゾーンと同様の構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内の誘導表示の間に隙間あり ● 踏切内：エスコートゾーンと同様の構造

※1：レール直近には誘導表示を設置しない

※2：レール間とレール近傍は設置実績のある視覚障害者誘導用ブロックと同じ高さとする

本実験：聞き取り等の内容（抜粋）

視覚障害者 ～踏切の進入・退出の認識性、誘導表示等の見つけやすさ、
通行しやすさ（直進性）、踏切内にいること・外にいることの識別性を評価

踏切に入ったことがはっきりとわかりましたか。5段階でお答えください

⇒【**進入の確信（1回目、複数回後）**】

踏切に入ったことを認識した手がかりは何ですか。全てお答えください（自由回答）

⇒【**進入したことを認識した手がかり（複数回答可）**】

踏切から出たことがはっきりとわかりましたか。5段階でお答えください

⇒【**退出の確信（複数回後）**】

踏切から出たことを認識した手がかりは何ですか。全てお答えください（自由回答）

⇒【**退出したことを認識した手がかり（複数回答可）**】

踏切内の誘導表示・誘導物は見つけやすかったですか。5段階でお答えください

⇒【**見つけやすさ（1回目、複数回後）**】

踏切内の誘導表示・誘導物に沿って通行しやすかったですか。5段階でお答えください

⇒【**通行しやすさ（1回目、複数回後）**】

人を回避した時、通行の手がかりとしていたものはすぐ探せましたか。5段階でお答えください

⇒【**誘導表示等の再発見のしやすさ**】

横断歩道との違いが分かりやすかったですか。5段階でお答えください

⇒【**横断歩道との識別性**】

歩道との違いが分かりやすかったですか。5段階でお答えください

⇒【**歩道との識別性**】

【踏切の中にいた時に遮断かん作動を体験した場合】

通行中に警報器が鳴り、遮断かんが下がってきましたが、自分がいる位置を認識して、迷わずに踏切の外に出られましたか。5段階でお答えください

⇒【**遮断かん作動時に踏切内にいることの識別性**】

【踏切の外にいた時に遮断かん作動を体験した場合】

通行中に警報器が鳴り、遮断かんが下がってきましたが、踏切の外にいることをはっきりと認識していましたか。5段階でお答えください

⇒【**遮断かん作動時に踏切外にいることの識別性**】

車椅子使用者 ～踏切内の通行しにくさ、誘導表示等による危険度を評価

踏切内を通行しにくいと感じましたか。5段階でお答えください

⇒【**通行しにくさ**】

誘導表示等により車輪がとられたりして、危ないと感じましたか。5段階でお答えください

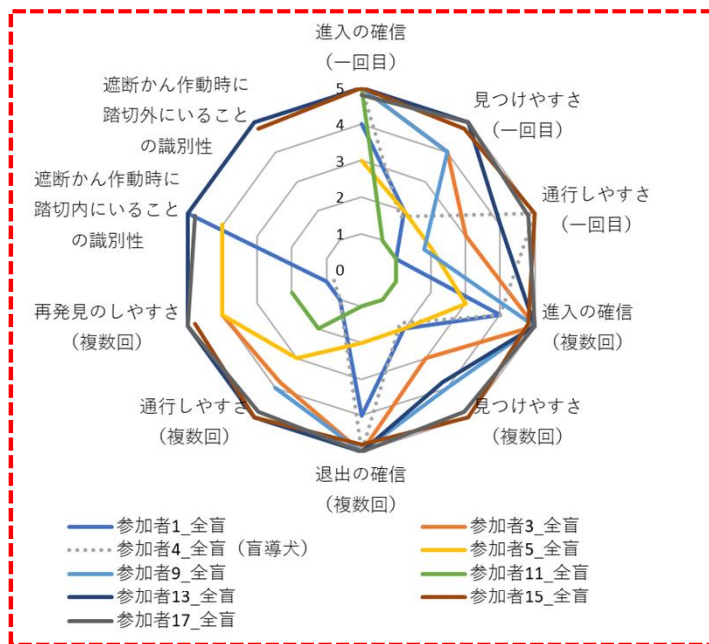
⇒【**危険度**】

本実験結果：視覚障害者の評価

○ パターン①は、通行のしやすさの評価が最高評価の人も最低評価の人もいて、特に評価のばらつきが大きい

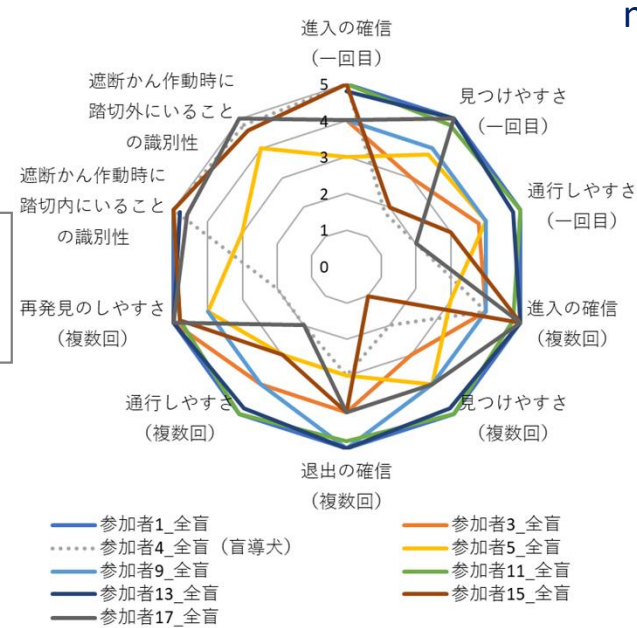
パターン① かまぼこ形の誘導物

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない



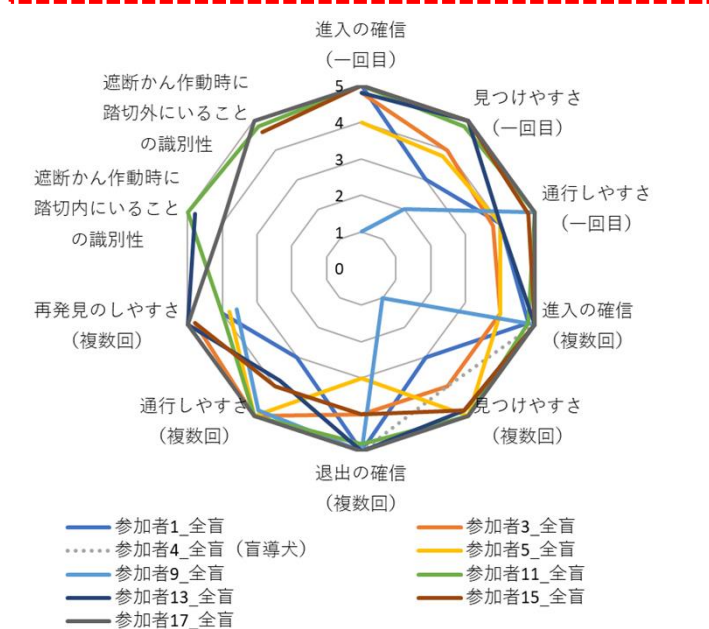
パターン② エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない



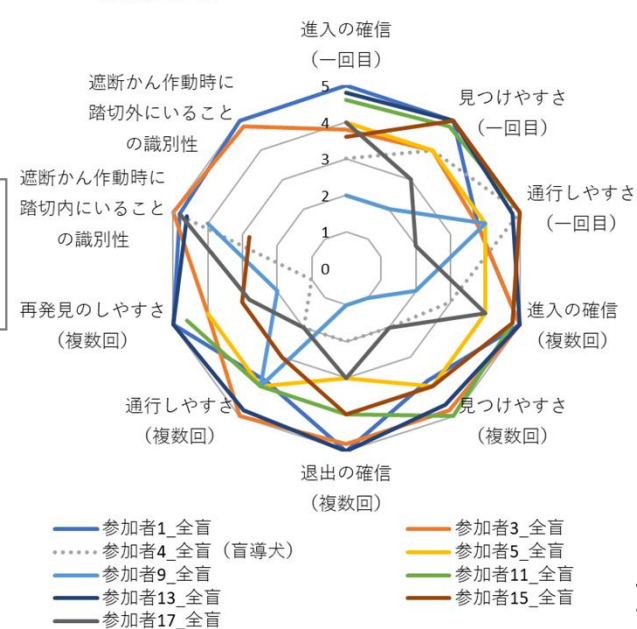
パターン③ 2本の線状突起

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない



パターン④ エスコートゾーンと同様の構造

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない



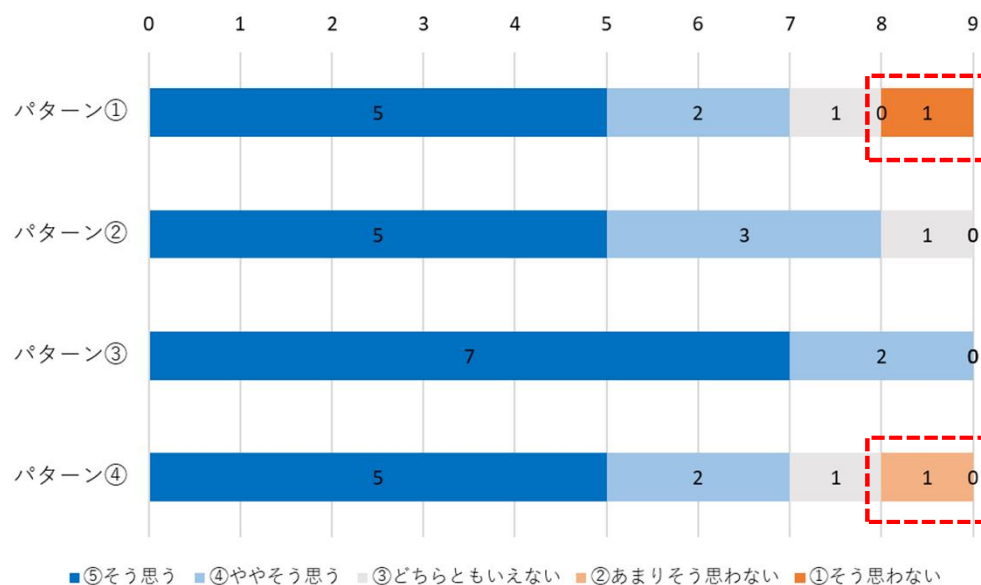
本実験結果：視覚障害者の評価（認識性）

- 踏切出入りの認識性は、全パターンにおいて比較的高評価
- パターン①と④は「あまりそう思わない」、「そう思わない」の評価があり、踏切内の誘導表示が踏切出入りの認識性にやや影響

■ 踏切に入ったことの認識性（複数回）

踏切に入ったことがはっきりわかったか
(確信度を5段階で回答)

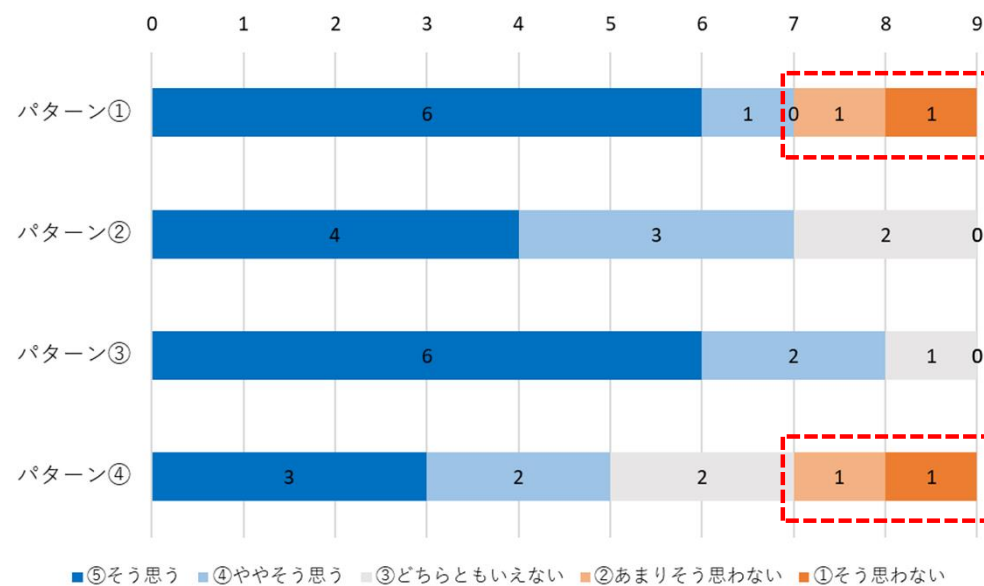
n=9



■ 踏切から出たことの認識性（複数回）

踏切から出たことがはっきりわかったか
(確信度を5段階で回答)

n=9



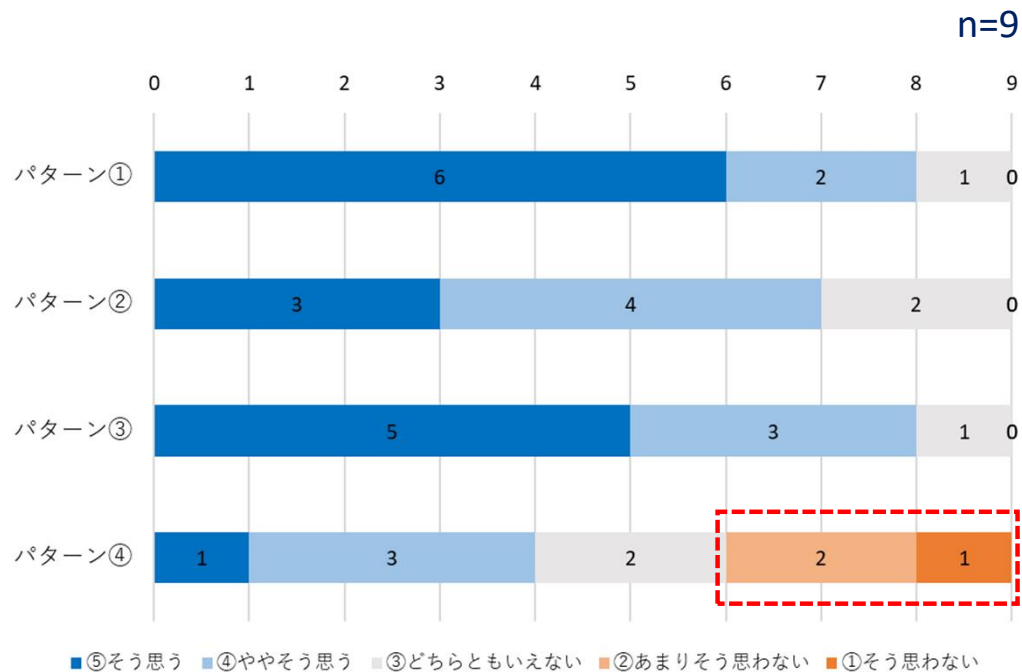
- ① かまぼこ形の誘導物
- ② エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起
- ③ 2本の線状突起
- ④ エスコートゾーンと同様の構造

本実験結果：視覚障害者の評価（識別性）

- 横断歩道との識別性において、パターン④は「あまりそう思わない」、「そう思わない」の評価があった
- 歩道との識別性において、パターン②のみ否定意見がない

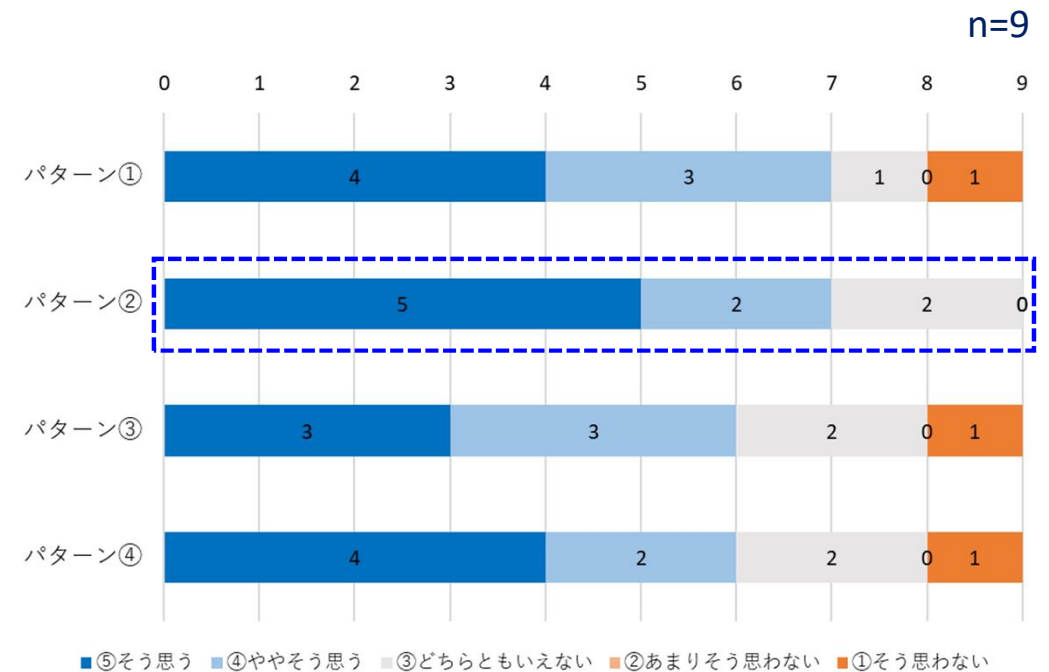
■ 横断歩道との識別性

横断歩道との違いがわかりやすかったか



■ 歩道との識別性

歩道との違いがわかりやすかったか



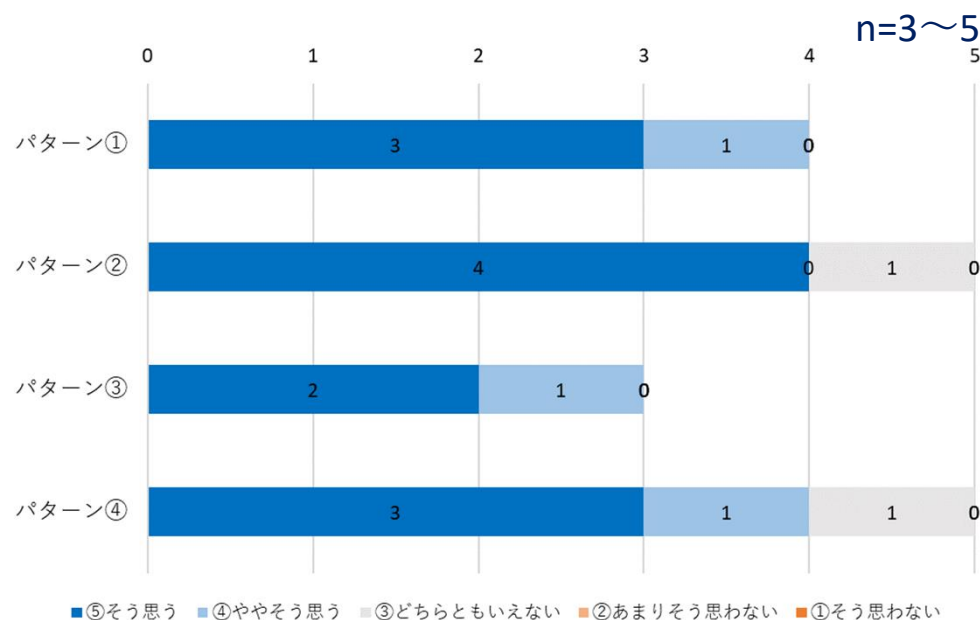
- ①かまぼこ形の誘導物
- ②エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起
- ③2本の線状突起
- ④エスコートゾーンと同様の構造

本実験結果：視覚障害者の評価（識別性）

- 遮断かん作動時の踏切内外の識別性は、全てのパターンにおいて高評価（エスコートゾーンと同様の構造を使用しているパターン②と④は、「どちらともいえない」の評価あり）
- なお、踏切内にいた場合は速やかに踏切外に退出していたものの、後ずさりや小走りをする参加者がいた。踏切外にいた場合は踏切手前で停止していた

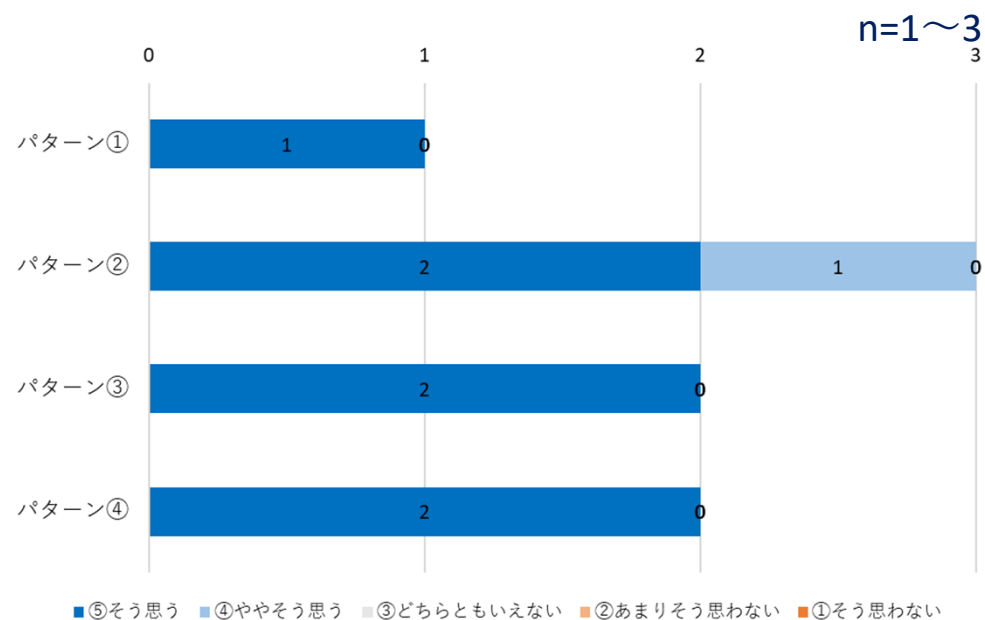
■踏切内にいることの識別性

踏切内で遮断かんが作動した時に、自分が踏切内にいるのか、外にいるのかを迷わずに識別して、踏切の外に出られたか



■踏切外にいることの識別性

踏切手前で遮断かんが作動した時に、自分が踏切内にいるのか、外にいるのかをはっきりと識別して、その場に留まれたか



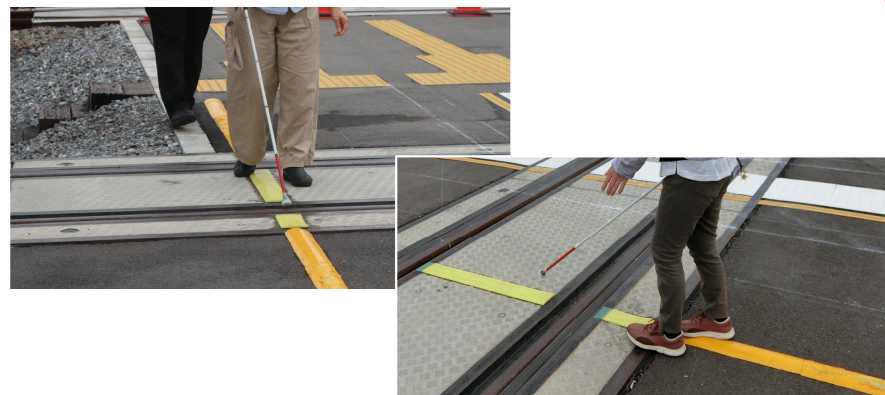
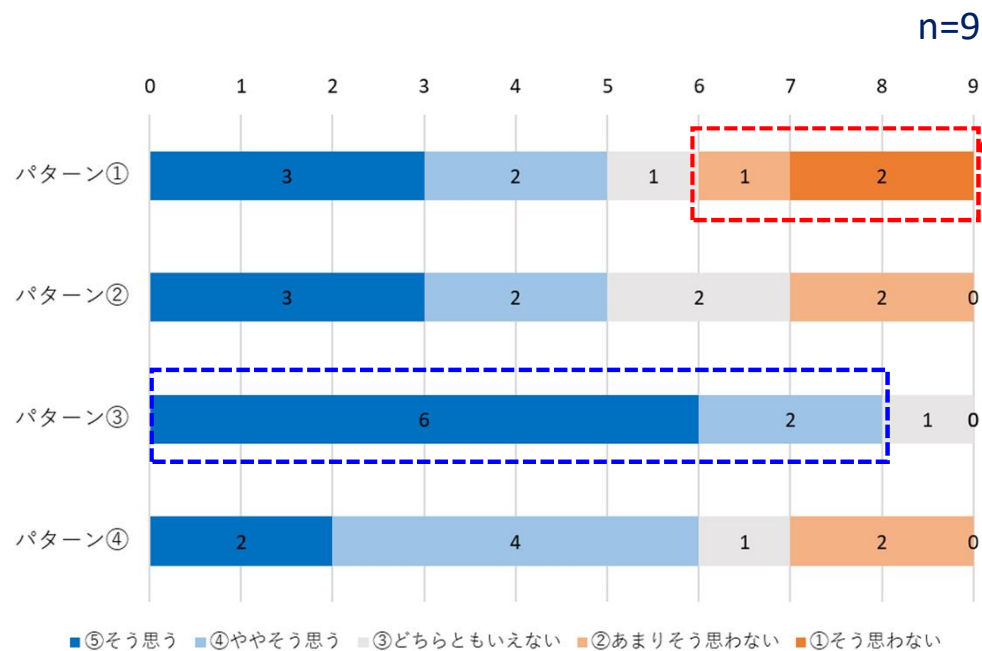
- ①かまぼこ形の誘導物
- ②エスコートゾーンと同様の構造+片側に線状突起
- ③2本の線状突起
- ④エスコートゾーンと同様の構造

本実験結果：視覚障害者の評価（直進性）

- 直進性（通行しやすさ）の評価は、パターン③が高い
- パターン①は、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の評価があった

■直進性（通行しやすさ）（複数回）

踏切内の誘導表示に沿って通行しやすかったか



足で誘導表示を確認しようとし、踏み外したり、乗り越えてしまう参加者がいた

- ①かまぼこ形の誘導物
- ②エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起
- ③2本の線状突起
- ④エスコートゾーンと同様の構造

本実験結果：視覚障害者による順位付け

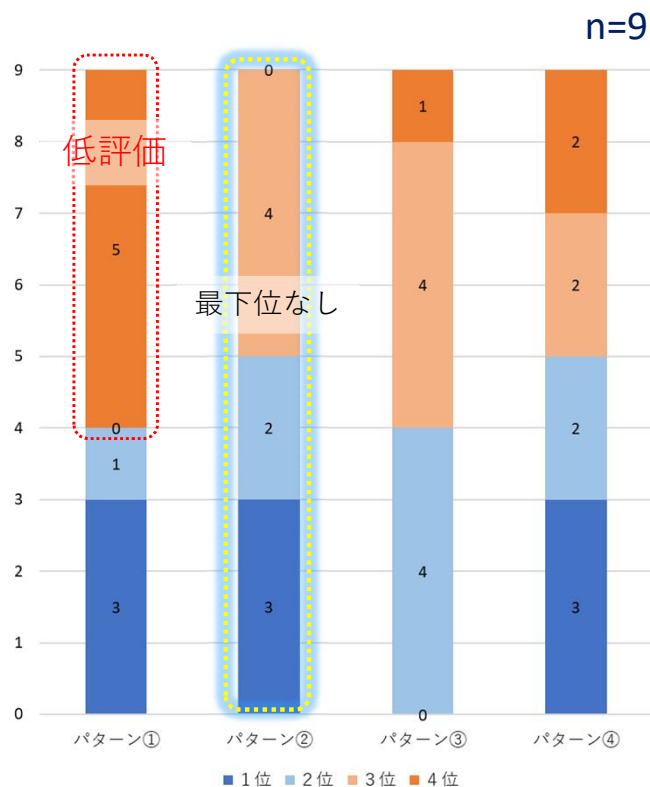
パターン①：直進性（通行しやすさ）において低評価、横断歩道との識別性において高評価

○パターン②：直進性（通行しやすさ）、歩道との識別性において最下位の評価がない、横断歩道との識別性においてやや低評価

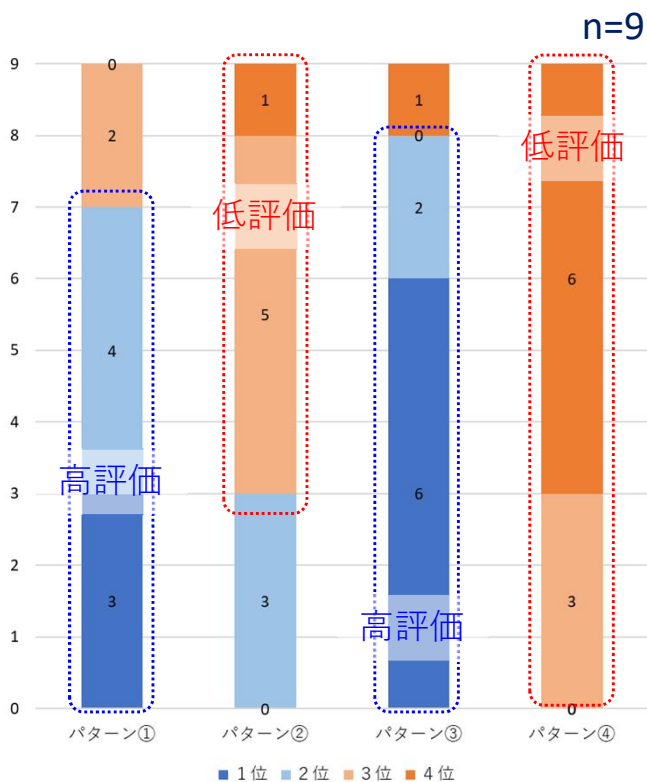
○パターン③：横断歩道との識別性において高評価、歩道との識別性において低評価

パターン④：横断歩道との識別性において低評価【横断歩道と混同するおそれあり】

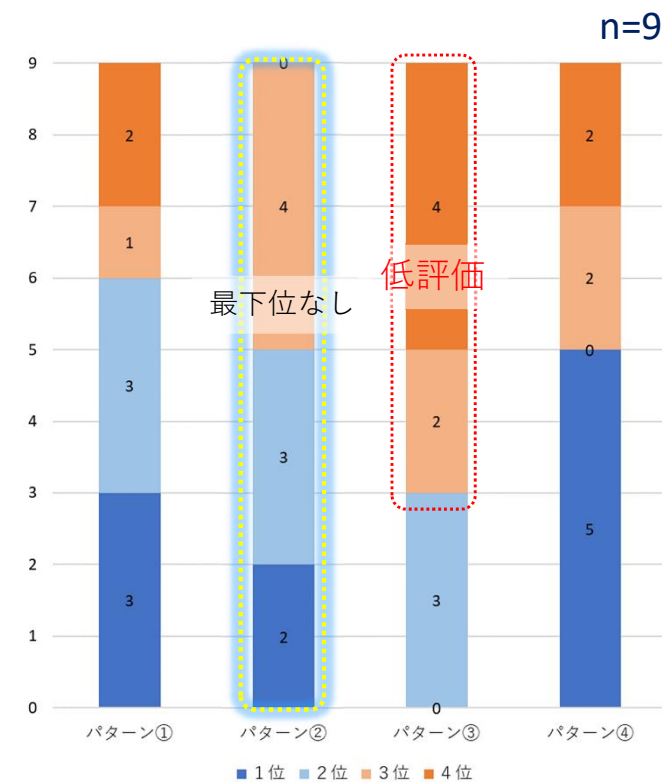
■直進性（通行しやすさ）



■横断歩道との識別性



■歩道との識別性



- ①かまぼこ形の誘導物
- ②エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起
- ③2本の線状突起
- ④エスコートゾーンと同様の構造

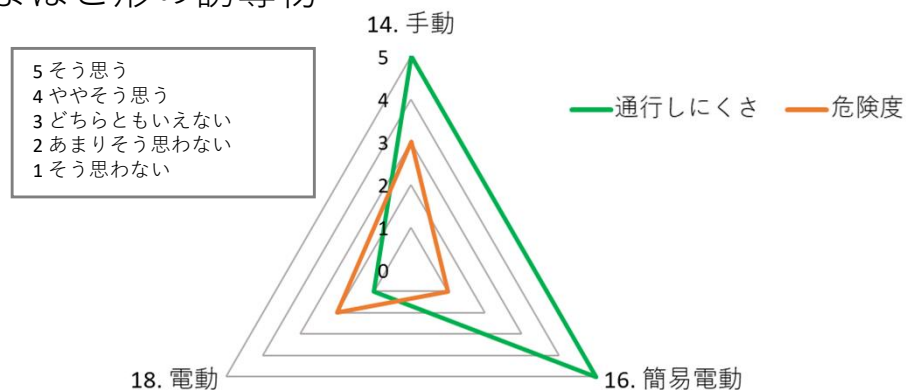
本実験結果：車椅子使用者の評価

- パターン②は、踏切内の誘導表示の上を通行すると、振動で足が落ちそうになる、体の負担になる、振動を抑えるためにゆっくり通行する等の指摘
(⇒ ゆっくり通行したときの振動による支障を再評価)
- パターン③は、2本の線状突起の間にタイヤが載ると、線状突起で車輪が取られる、脱輪するかもしれないという感覚がある等の指摘
(⇒ 跨いで（タイヤ間に線状突起を挟む形で）通行することの危険度を評価)

パターン①

かまぼこ形の誘導物

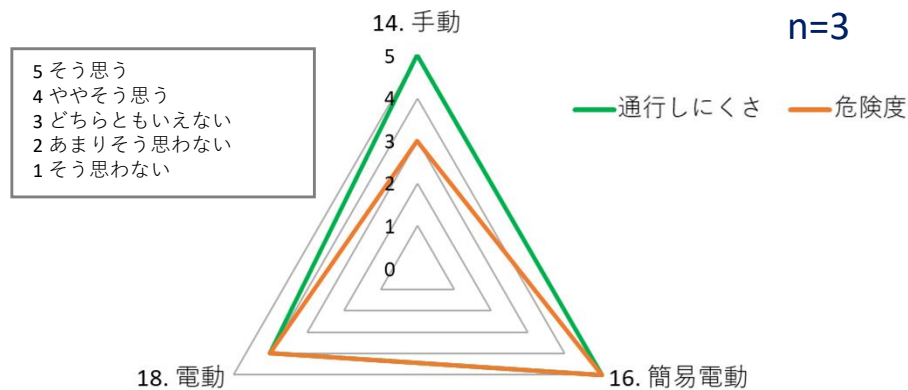
n=3



パターン②

エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起

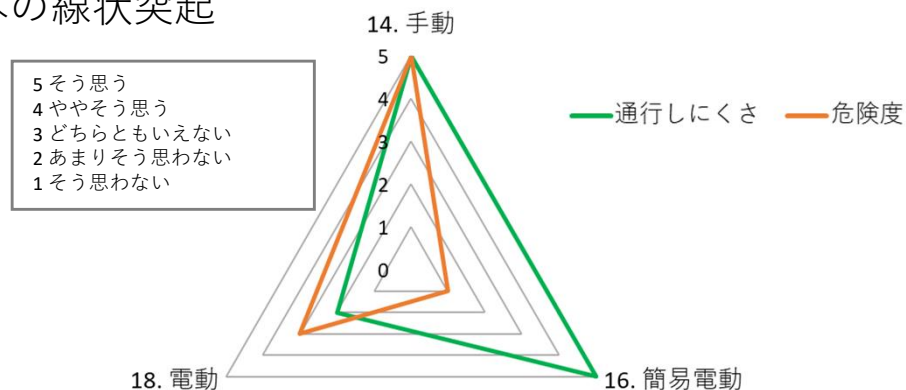
n=3



パターン③

2本の線状突起

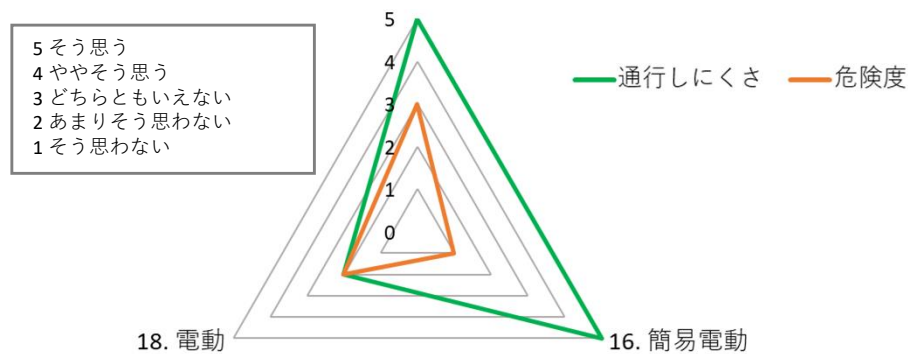
n=3



パターン④

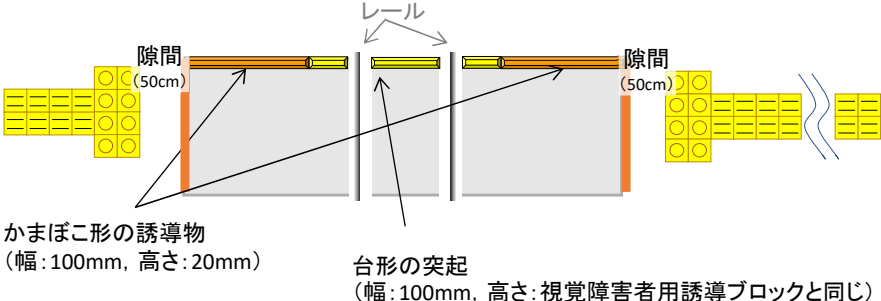
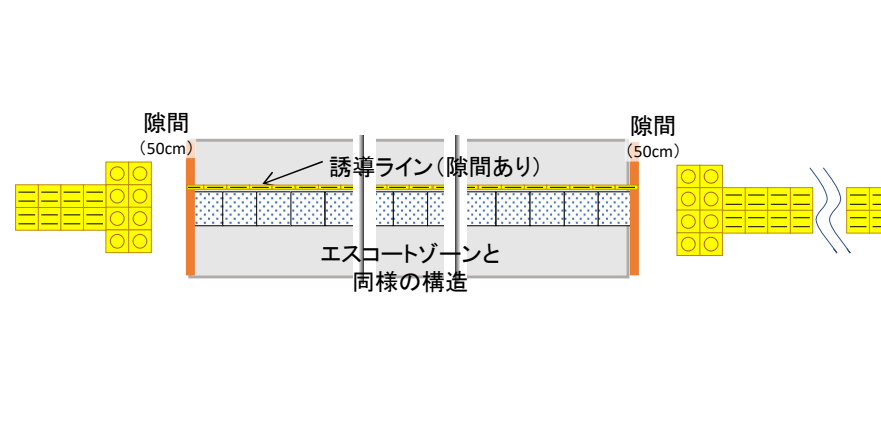
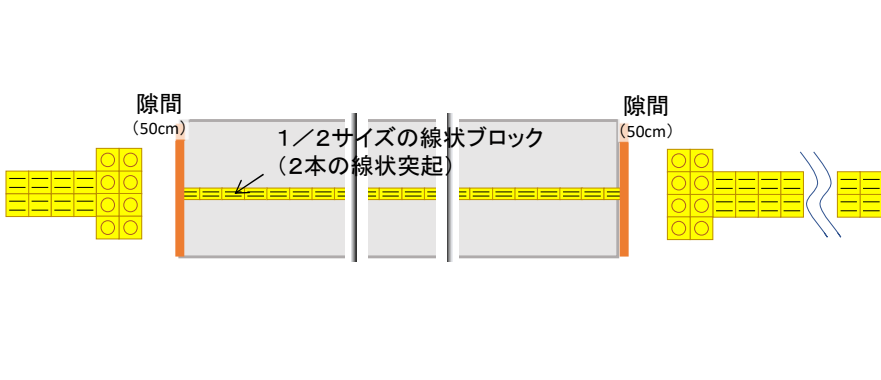
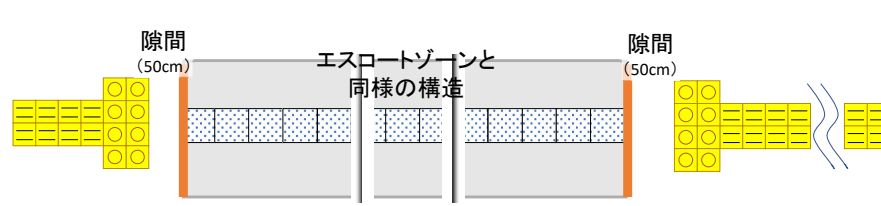
エスコートゾーンと同様の構造

n=3



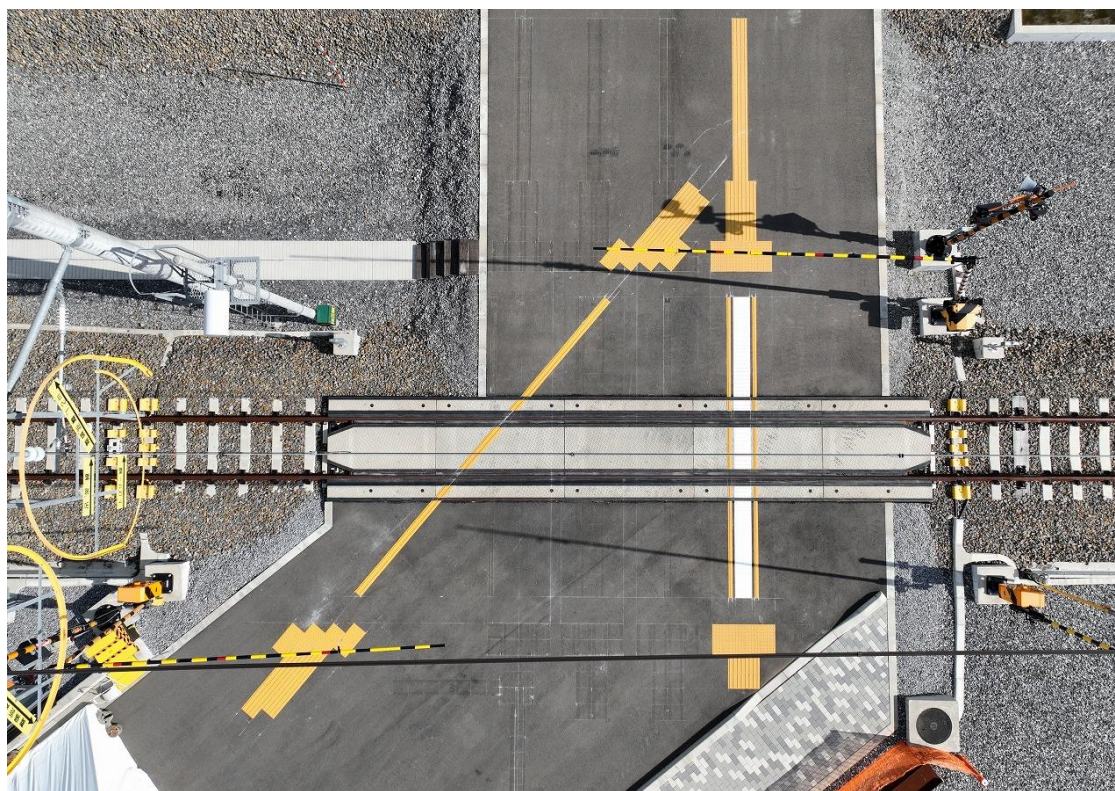
本実験結果

— : 遮断かん位置

<p>①</p>	 <p>かまぼこ形の誘導物 (幅:100mm, 高さ:20mm)</p> <p>台形の突起 (幅:100mm, 高さ:視覚障害者用誘導ブロックと同じ)</p>	<p>【視覚障害者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通行のしやすさの評価が最高評価の人も最低評価の人もいて、特に評価のばらつきが大きい ➤ 白杖でかまぼこ形に沿って通行することを想定していたが、<u>足でかまぼこを捉えている参加者が多く、道路外にはみ出す危険性があった</u>
<p>②</p>	 <p>隙間 (50cm)</p> <p>誘導ライン(隙間あり)</p> <p>エスコートゾーンと同様の構造</p> <p>隙間 (50cm)</p>	<p>【視覚障害者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 踏切出入りの認識性は比較的高評価 ● 直進性、歩道との識別性の順位は最下位なし ● <u>誘導ラインの位置</u>について、線路側が良い、車道側が良い、両側が良いで意見が分かれた <p>【車椅子使用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 振動に対する指摘 (足が落ちそうになる、体の負担になる、振動を抑えるためにゆっくり通行する等) <p>⇒最終確認で評価</p>
<p>③</p>	 <p>隙間 (50cm)</p> <p>1/2サイズの線状ブロック (2本の線状突起)</p> <p>隙間 (50cm)</p>	<p>【視覚障害者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 踏切出入りの認識性、直進性は高評価 ● 直進性、横断歩道との識別性の順位は高順位 ● 歩道との識別は順位が低い <p>【車椅子使用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 線状突起の間にタイヤが載ると、線状突起で車輪が取られる、脱輪するかもしれないという感覚がある等の指摘 <p>⇒最終確認で評価</p>
<p>④</p>	 <p>隙間 (50cm)</p> <p>エスコートゾーンと同様の構造</p> <p>隙間 (50cm)</p>	<p>【視覚障害者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横断歩道との識別しやすさの順位が低い ➤ <u>横断歩道との混同のおそれあり</u>

視覚障害者誘導用ブロック等の設置方法及び構造に関する実験

本実験 (最終確認)



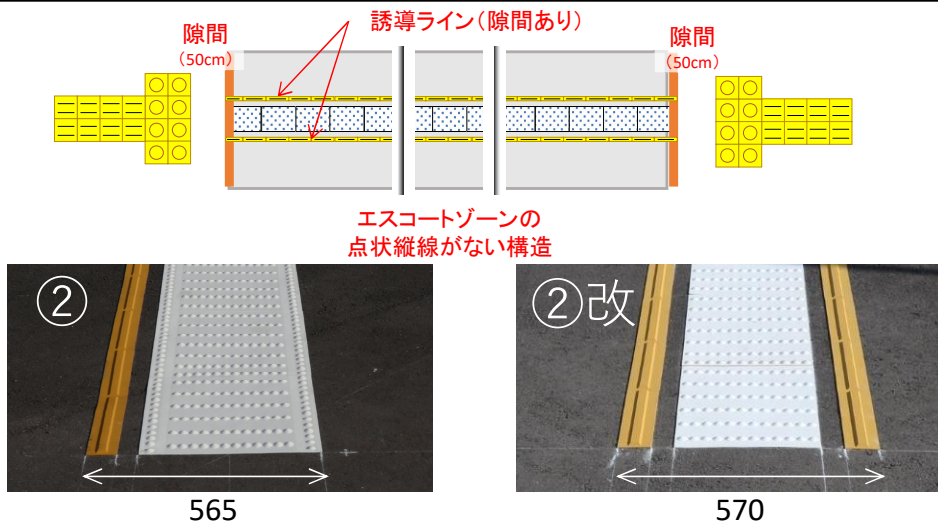
日にち：2023年10月12日

場 所：東鉄工業（株）東鉄総合研修センター（茨城県つくばみらい市）

実験参加者：視覚障害者6名、車椅子使用者3名

最終確認：誘導表示等のパターン

②改

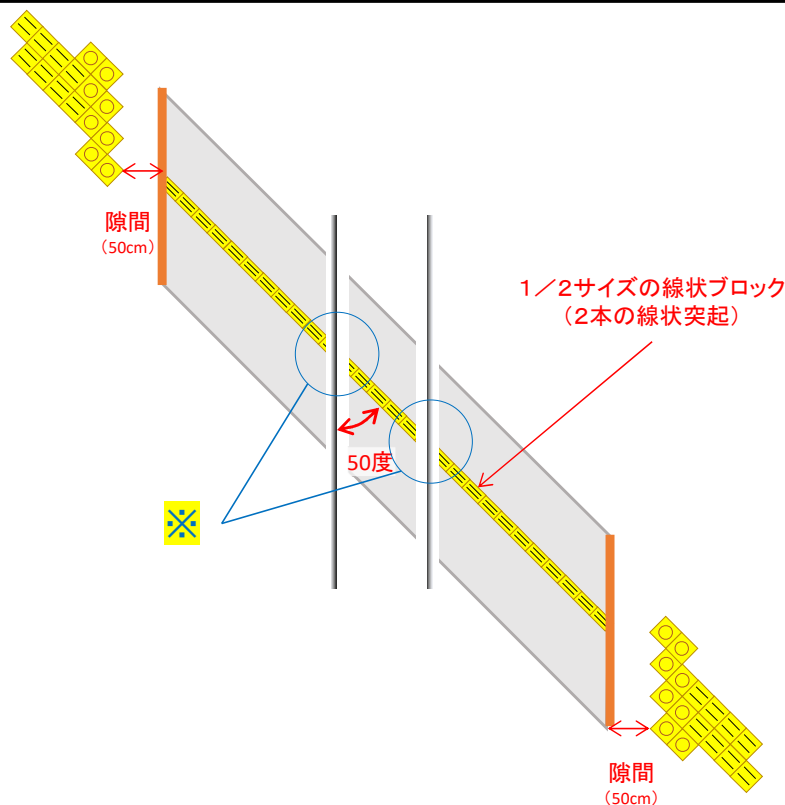


- 踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内の誘導表示の間に隙間あり
- 踏切内：線状突起の誘導ライン+隙間+エスコートゾーンの点状縦線を除いた構造+隙間+線状突起の誘導ライン

➤ 最終確認における評価のポイント

- **視覚障害者**：誘導ラインを両側に設置するのか、左右どちらに設置するのかを再評価する
- **車椅子使用者**：ゆっくり通行したときの振動による支障を再評価する

③斜め



- 踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内の誘導表示の間に隙間あり
- 踏切内：1/2サイズの線状ブロック（2本の線状突起）

➤ 最終確認における評価のポイント

- **視覚障害者**：斜めに敷設することにより、踏切内に誘導表示を敷設できない部分が広くなることによる支障を評価する※
- **車椅子使用者**：斜めに敷設することによる支障を評価する／跨いで通行することの危険度を評価する

※1: レール直近には誘導表示を設置しない

最終確認：聞き取り等の内容（抜粋）

視覚障害者 ～本実験の聞き取り内容に以下を加えて評価

【パターン②改のみ】

誘導ライン（1本の線状突起）がエスコートゾーンの端を除いたものの両側にありましたが、両側にあるのと、片側にあるのと、どちらが安全に通行することができると思われますか。その理由は何ですか。

【パターン②改のみ】

誘導ライン（1本の線状突起）は片側がよいと回答した場合誘導ラインは線路側にあるのと、車道側にあるのとどちらの方が、安全に通行することができると思われますか。その理由は何ですか。

車椅子使用者 ～主に以下に示す内容を評価

（パターン②改）

誘導表示等があることにより踏切内を通行しにくいと感じましたか。5段階でお答えください

⇒ **【通行しにくさ】**

誘導表示等があることにより車輪がとられたりして、危ないと感じましたか。5段階でお答えください

⇒ **【危険度】**

誘導表示等による振動は気になりましたか

ゆっくり通行する場合、誘導表示等が設置されていない場合と比較して、振動が気になりますか

⇒ **【ゆっくり通行したときの振動】**

（パターン③斜め）

実際に通常の踏切に設置された場合には、どこを通行すると思えますか

誘導表示等があることにより踏切内を通行しにくいと感じましたか。5段階でお答えください

⇒ **【通行しにくさ】**

誘導表示等があることにより車輪がとられたりして、危ないと感じましたか。5段階でお答えください

⇒ **【危険度】**

【実際の踏切に設置された場合に「誘導物を跨いで通行する」と回答した方】

誘導物を跨いで通行すると回答されましたが、誘導物があることは通行に支障がありますか

誘導表示等を跨いで通行する場合、誘導表示等がない場合と比較して危険と感じますか。

⇒ **【跨いで通行したときの危険度】**

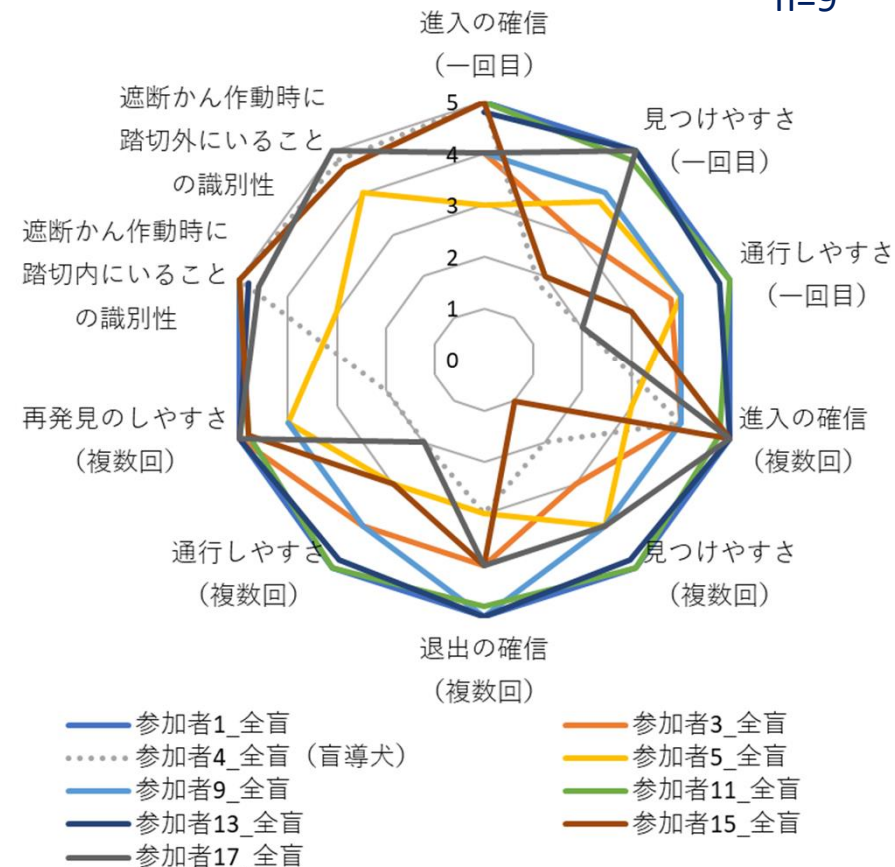
誘導表示等が線路に対し斜めに設置されていましたが、誘導ラインの突起で車輪が取られ、危ない等感じましたか。

最終確認結果：パターン②改（視覚障害者の評価）

- エスコートゾーンの幅を狭くし、線状突起を両側に付けたことにより、全体的に評価が高まった
- 誘導ラインは6名中4名が「両側がよい」とする回答

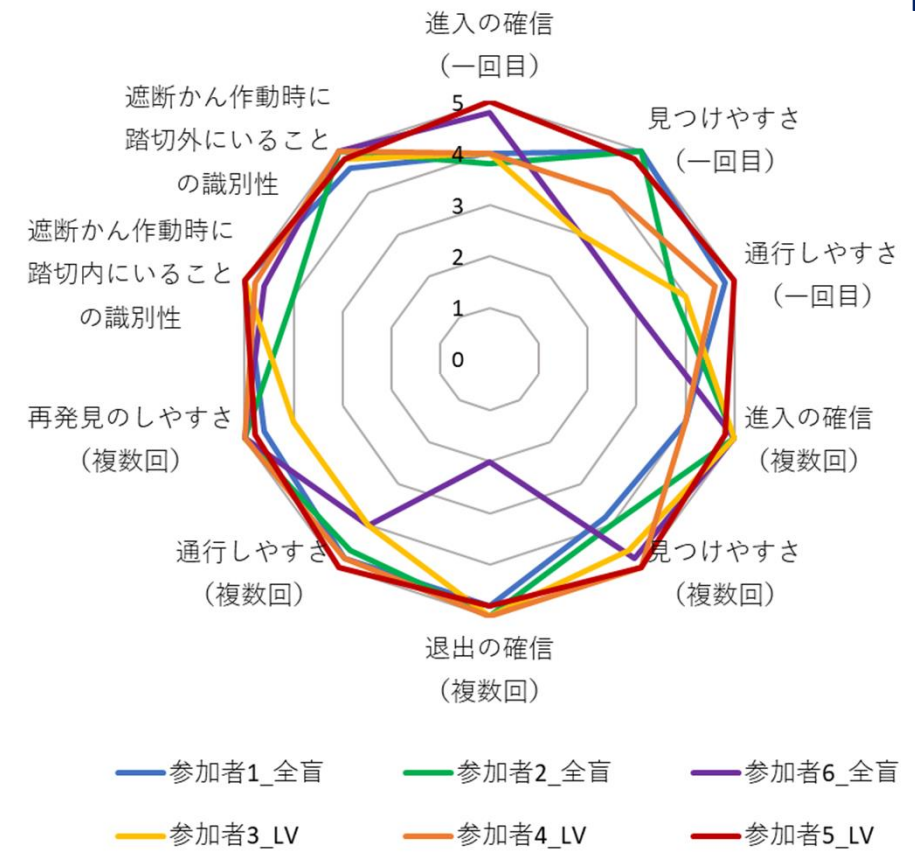
パターン②

エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起
n=9



パターン②改

エスコートゾーンと同様の構造 + 両側に線状突起
n=6



5 そう思う
4 ややそう思う
3 どちらともいえない
2 あまりそう思わない
1 そう思わない

5 そう思う
4 ややそう思う
3 どちらともいえない
2 あまりそう思わない
1 そう思わない

最終確認結果：パターン②改（車椅子使用者の評価）

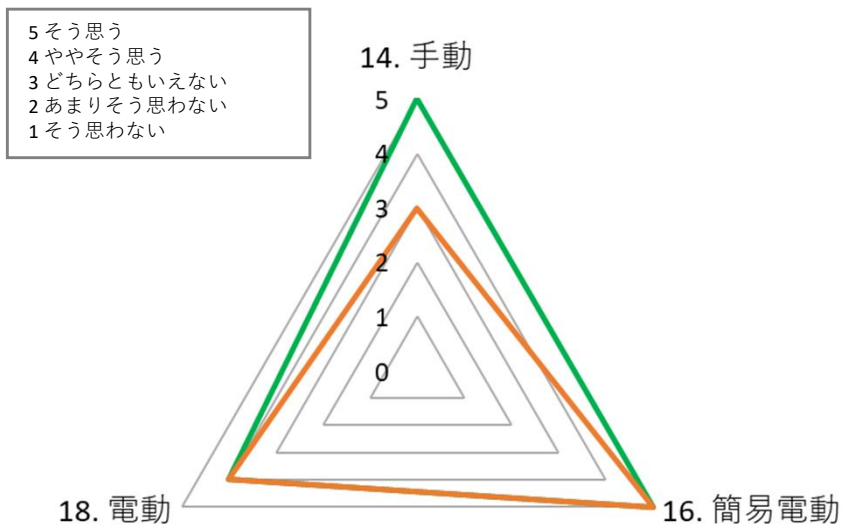
○ ゆっくり通行したときの振動が気になるか、の評価※は、3名中2名が「ややそう思う」の評価。ただし2名のうち1名は「（振動は）跨げるので気にならない」とのコメント
※ゆっくり通行する場合、誘導表示等が設置されていない場合と比較して、振動が気になるか

○ ゆっくり通行することの支障は3名とも「なし」であったが、2名は誘導表示等による振動が「気になる」とのコメントであった

パターン②

エスコートゾーンと同様の構造 + 片側に線状突起

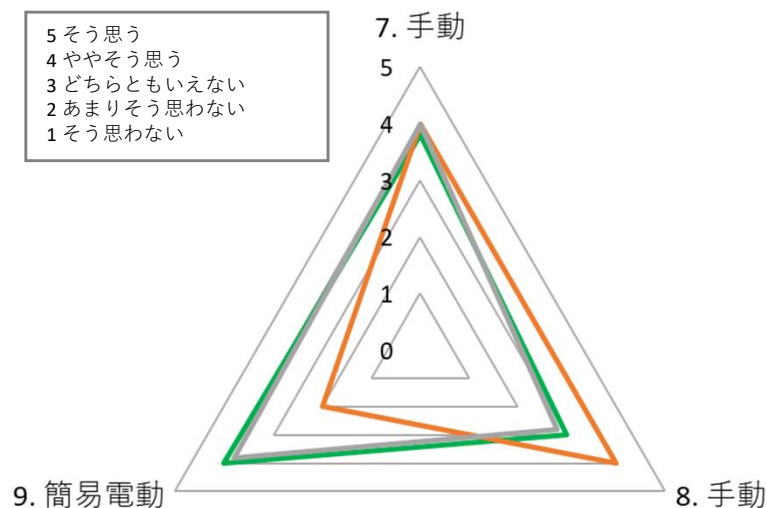
— 通行しにくさ — 危険度 **n=3**



パターン②改

エスコートゾーンと同様の構造 + 両側に線状突起

— 通行しにくさ — 危険度 — ゆっくり通行したときの振動 **n=3**



コメント	誘導表示等による振動	ゆっくり通行することの支障
参加者7	跨げるので気にならない	なし
参加者8	気になる	基本的にはない。普段はゆっくり通行している。踏切の時間的間隔が小さく、早く渡らないといけない場面では心の余裕がなくなる。
参加者9	やや気になる	なし

最終確認結果：パターン③斜め（視覚障害者の評価）

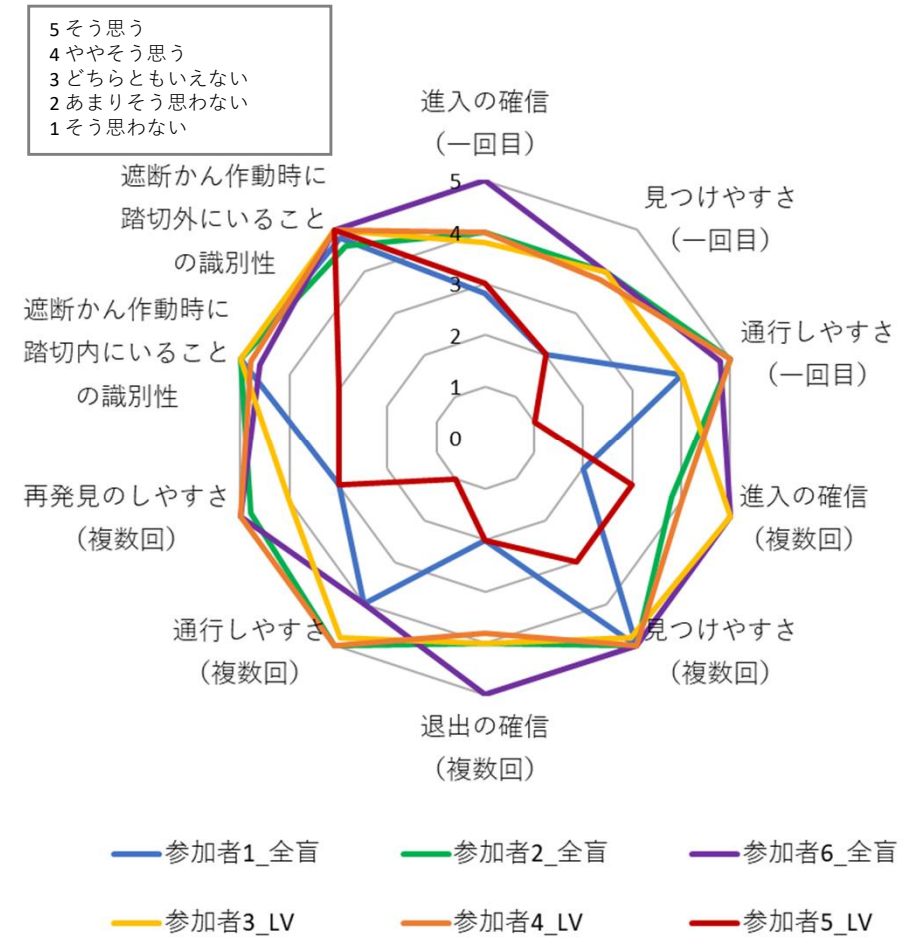
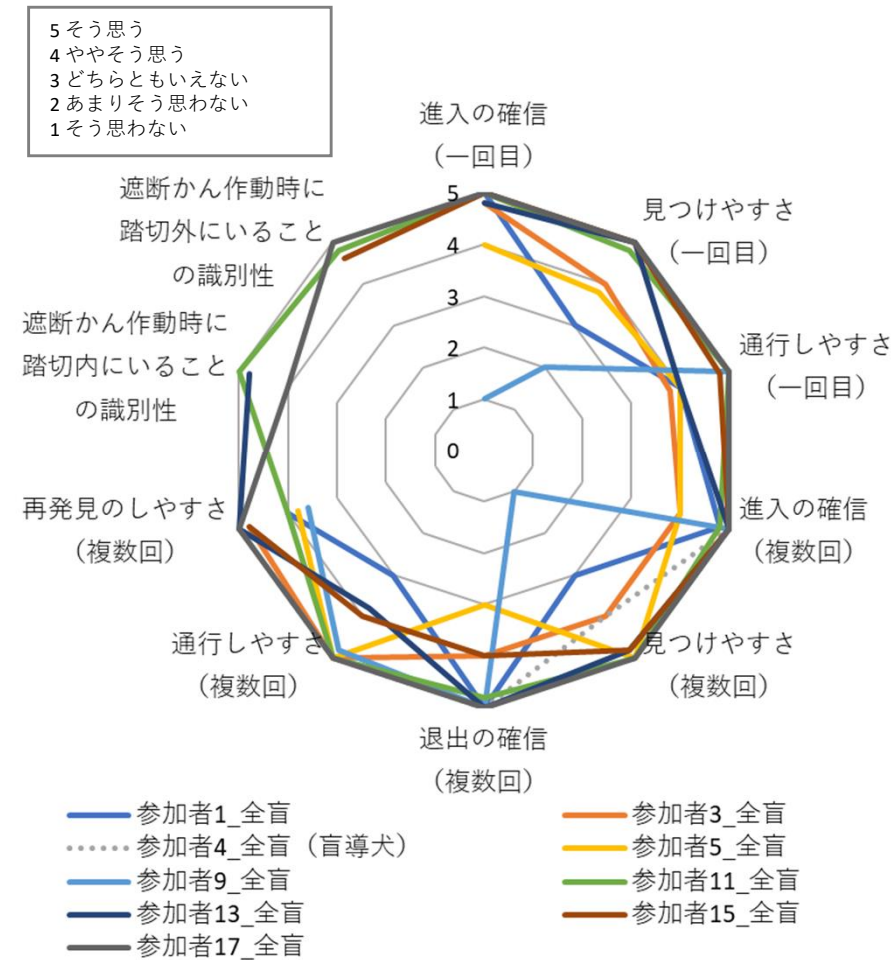
○ パターン③を斜めに敷設すると、2名の参加者の評価が低かった
 ○ その理由として、「斜めに設置する場合、点状ブロックが階段状に設置され、点状ブロックと踏切内の誘導表示との隙間が広くなる部分があることで方向定位しにくい」との回答

パターン③ 2本の線状突起

n=9

パターン③斜め 2本の線状突起

n=6



最終確認結果：パターン③斜め（車椅子使用者の評価）

- 跨いで通行したときの危険度の評価※は、3名中1名が「ややそう思う」の評価、ただし特段のコメントはなし ※誘導表示等を跨いで通行する場合、誘導表示等がない場合と比較して危険と感じるか
- 斜め敷設に関するコメントは支障なしとの回答

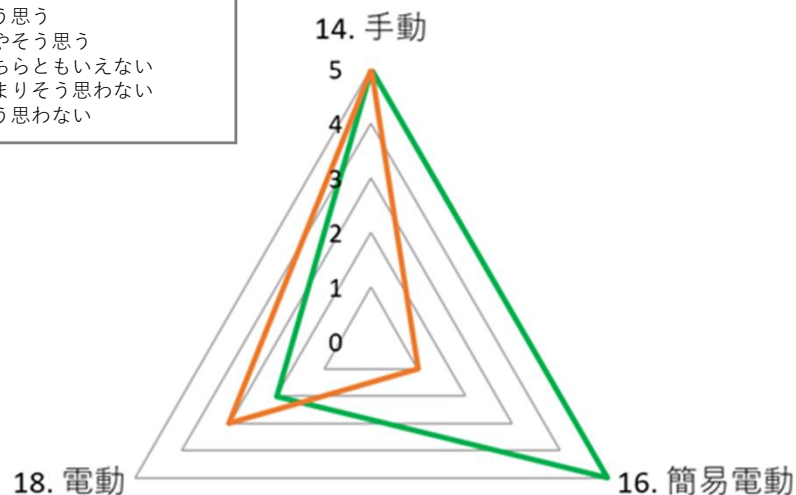
パターン③

2本の線状突起

— 通行しにくさ — 危険度

n=3

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない



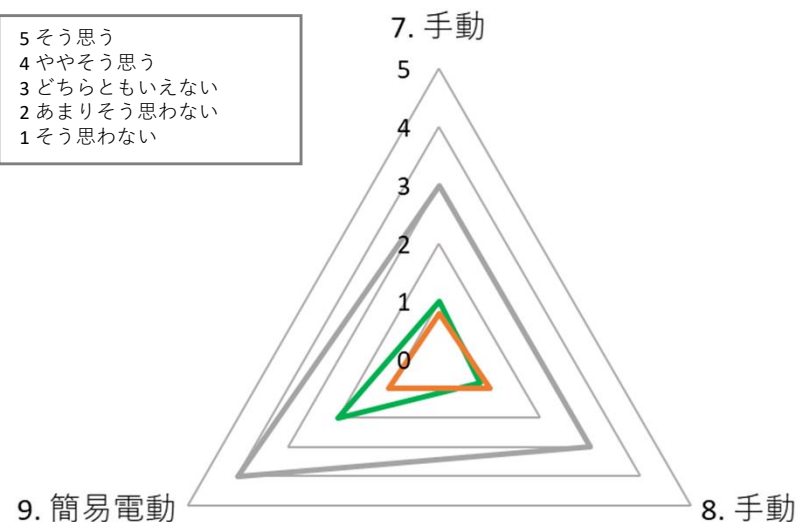
パターン③斜め

2本の線状突起

— 通行しにくさ — 危険度 — 跨いで通行したときの危険度

n=3

- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

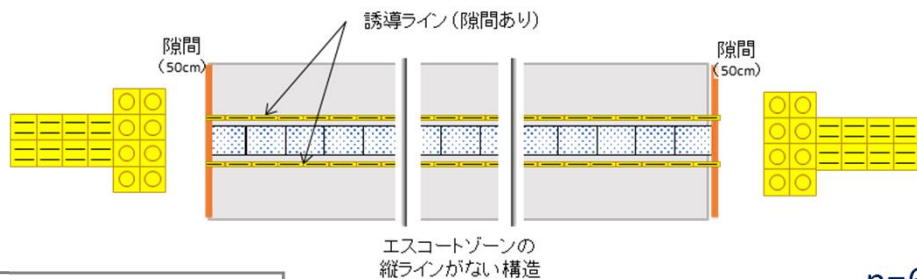


コメント	跨いで通行することの危険度	斜めに敷設することの支障
参加者7	—	なし
参加者8	—	なし
参加者9	—	誘導表示よりもレールを気にしていたので、あまりそう思わない

視覚障害者の評価が高かった誘導表示

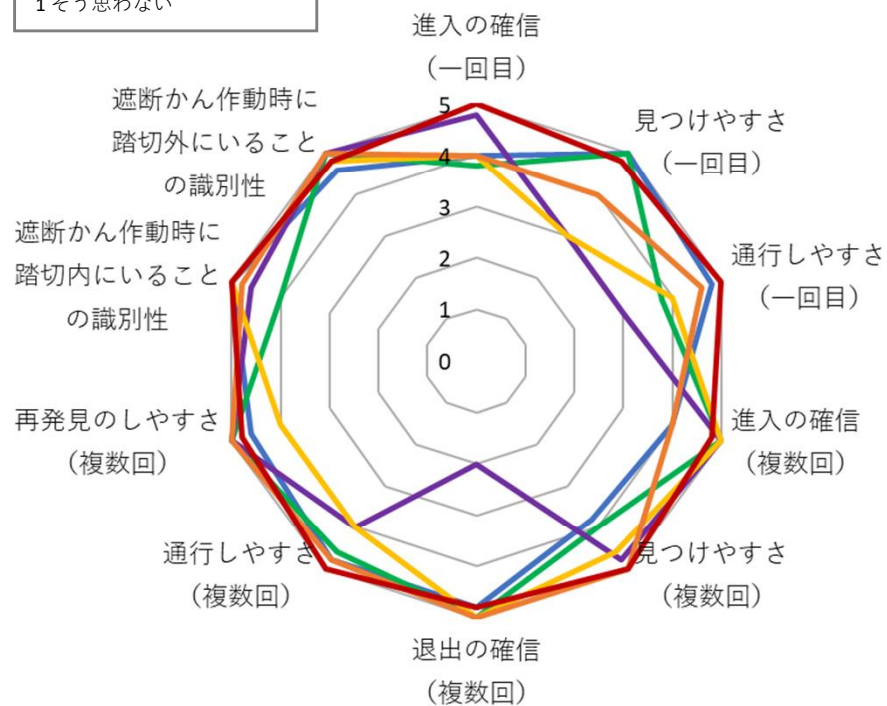
パターン②改

エスコートゾーンと同様の構造 + 両側に線状突起



- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

n=6



- 参加者1_全盲
- 参加者2_全盲
- 参加者6_全盲
- 参加者3_LV
- 参加者4_LV
- 参加者5_LV

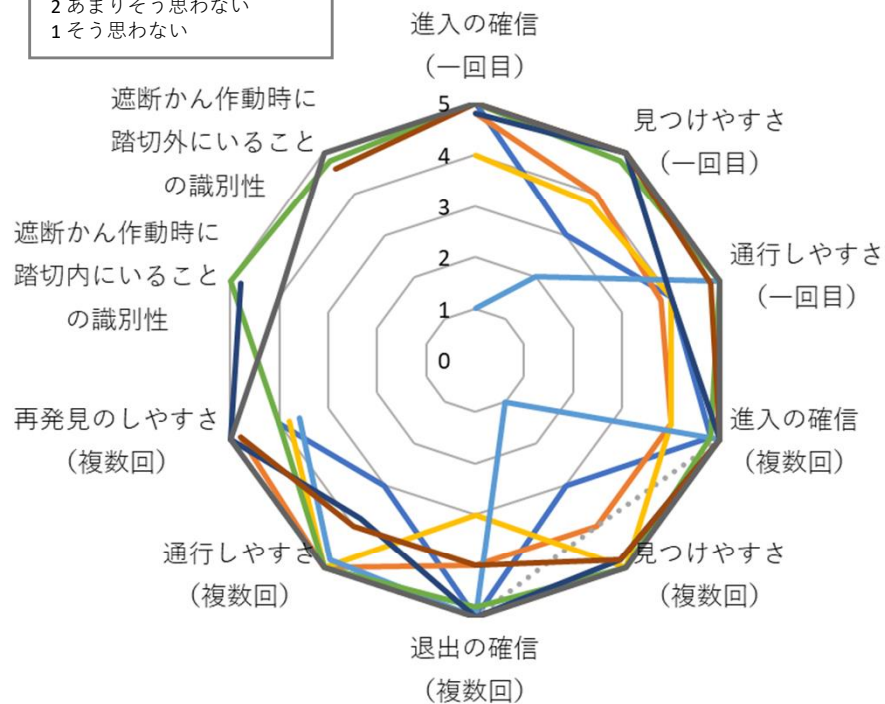
パターン③

2本の線状突起



- 5 そう思う
- 4 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 2 あまりそう思わない
- 1 そう思わない

n=6



- 参加者1_全盲
- 参加者4_全盲 (盲導犬)
- 参加者9_全盲
- 参加者13_全盲
- 参加者17_全盲
- 参加者3_全盲
- 参加者5_全盲
- 参加者11_全盲
- 参加者15_全盲